



グローバルファンドの最も長きにわたる企業パートナーである武田薬品が 第8次増資に拠出表明

2025年5月20日

ジュネーブ世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）は、日本に本社を置くグローバル製薬企業である武田薬品工業株式会社からの3億5,000万円の拠出表明を歓迎します。これは、グローバルファンドの第8次増資における、初めての民間企業からの拠出表明となります。

武田薬品の今回の新たな2年間の寄付プログラムの基盤となるのは「タケダ・イニシアティブ」です。本プログラムには、過去15年にわたり20億円が拠出され、[ケニア](#)、[ナイジェリア](#)、[タンザニア](#)において産前・産後健診に質の高いエイズ・結核・マラリア対策を統合することにより、母子の健康改善を支援してきました。このような統合は、早期発見と治療の効率的な推進に不可欠であり、妊娠中の母体の健康、そして母子の長期的な健康の実現につながります。直近5年間で質の高い医療支援を受けた母親の数は150万人に達します。こうした成果を踏まえ、新たなパートナーシップでは、さらなる統合ケアモデルの規模拡大と持続可能性を支援します。

武田薬品は、2010年よりグローバルファンドの最も強力な企業パートナーの一つであり、その継続支援は民間企業としては最長となります。武田薬品は、15年にわたり、サブサハラ・アフリカ地域全体の感染症予防と保健システム強化に必要不可欠な支援を続けてきました。また、産前・産後健診への統合によるサービス提供の改善を重点に置きつつ、タンザニアでの蚊帳の配布によるマラリア予防、ケニアでの結核治療へのアクセス改善、ナイジェリアでのエイズ治療拡大や予防啓発活動強化といった支援の拡大にも貢献してきました。

「240年以上にわたり、武田薬品は患者さんのことを最優先に考え、心のこもった社会貢献を続けてきました。当社とグローバルファンドとの長きにわたる協力関係は、当社に深く根差したこのコミットメントを反映しています」と、武田薬品のチーフ グローバル コーポレート アフェアーズ&サステナビリティ オフィサーである大藪貴子氏は述べています。「当社はタケダ・イニシアティブを通じ、サブサハラ・アフリカ地域の母子のために保健医療の提供の体系的な改善を進めてきました。新たな拠出表明では、こうした効果の維持・拡大に継続して取り

組むため、現地におけるリーダーシップと保健医療人材を強化し、強靱な保健システムの実現を目指します。当社の取り組みにおいて強調しているのは、グローバルヘルスの課題に対処し、持続的な変化を促進する中で、ステークホルダーとの緊密な協力体制のもと民間セクターが担うべき重要な役割があるということです」。

「タケダ・イニシアティブは、革新、コミットメント、そして現地の主体性によって、保健システムを変革し生活を向上させられることを実際に示してきました。これは、他の企業ドナーにとって強力なモデルとなります」と、グローバルファンド事務局長のピーター・サンズは述べています。「武田薬品に心から感謝しています。また、企業のリーダーおよび慈善活動家の皆様には、グローバルファンドの第8次増資へご支援いただけますようお願いしたいと思います。力を合わせれば、科学の進歩を拡大可能なソリューションに変えることができます。それは、最も脆弱な人々を守り、保健システムを強化し、次世代のためにより健康な世界を構築することにつながります」。

グローバルファンドは、民間セクターを保健医療の変革の原動力として認識し、第8次増資において民間ドナーから20億米ドルを調達するという意欲的な目標を掲げ、これまで以上に重視しています。グローバルファンドへの投資は、1米ドルの投資につき、19米ドル相当の健康増進と経済的リターンがもたらされると推定されており、長期的なメリットを生み出します。グローバルファンドは、民間資本とイノベーションの活用によって、公衆衛生を世界規模で変革することのできる、影響力が大きく持続可能なソリューションを提供しています。

###

グローバルファンドは、エイズ、結核、マラリアの流行を終息させ、全ての人に健康かつ安全で、より公平な未来を築くための世界的なパートナーシップです。年間50億米ドル超の資金を調達し、最も影響が深刻な100カ国以上における、三大感染症との闘い、感染症を助長する不公平の克服、保健システムの強化、パンデミックへの備えに投資しています。世界のリーダー、コミュニティ、市民社会、ヘルスワーカー、民間セクターと連帯し、最も効果的な方策を見出し、世界規模で展開しています。2002年の設立以来、グローバルファンドのパートナーシップの支援により6500万の命が救われました。

グローバルファンドの活動の詳細は www.theglobalfund.org をご覧ください。

Xをフォロー <https://twitter.com/globalfund>

フェイスブックに参加 <http://www.facebook.com/theglobalfund>